

福祉と看護の研究誌 査読ガイドライン規約

福祉と看護の研究誌 編集委員会

1. 査読の位置づけ

本学誌において査読とは、学術的発展のために、その志を同じくする実践者や研究者同士が、相互の研鑽を目的として、お互いの研究を吟味評価しあうことを目的とした査読と位置づけます。

2. 査読の基本方針

- ①学術発展を支援する立場から、査読は批判的であるよりも建設的であることを旨として下さい。課題を指摘する場合には具体的な代替案を示し、論文が改善され、投稿者がより成長できるよう支援して下さい。
- ②論文としての完成度が不十分であっても、研究の意義が高く評価できる場合には、なるべく採用の方針で査読を行い、研究としての意義が正当に理解・吟味できる論文となるようにご助言下さい。
- ③査読はあくまでも実践者や研究者同士の相互研鑽の機会であるため、査読を行う際には、投稿者の立場を尊重し、建設的・発展的にコメントをして下さい。
- ④審査対象の論文が、査読者の意見と一致しないや査読者の研究と競合あるいは相反するなどの場合であっても、公平な立場で意見を述べるように注意してください。
- ⑤原則として、1回目の査読で問題点を全て指摘し、2回目以降は新たな問題点の指摘は行わないようにして下さい。
- ⑥審査対象の論文の内容（データやアイディア、演題も含む）については、外部に漏らさないで下さい。また、査読したことや審査の結果についても同様に取り扱って下さい。

以上

3. 査読基準

①原著論文

- ・研究論文のうち、研究そのものが独創的で、新しい知見を理論的に示している。
- ・研究目的が明確であり、研究目的に合った研究方法であり、分析も適切である。
- ・結果に基づき、的確な考察がされている。
- ・論旨の一貫性が担保されている。
- ・倫理的な問題がない。
- ・400文字程度の和文抄録、和文キーワード（5つ以内）をつけている。
- ・英文タイトル、200語程度の英文抄録、英文キーワード（5つ以内）をつけている。
- ・ネイティブチェック（英文校閲）の証明書がある。

- ・ 投稿規程に沿って体裁が整っている。

②資料

- ・ 学術上および技術上価値ある新しい研究成果で、前掲「原著論文」と比較すると論文としての完成度にはやや難がある。

- ・ 倫理的な問題がない。

- ・ 400 文字程度の和文抄録，和文キーワード（5 つ以内）をつけている。

- ・ 投稿規程に沿って体裁が整っている。

③実践報告

- ・ 上記には当てはまらないが，公表する価値がある。

- ・ 倫理的な問題がない。

- ・ 400 文字程度の和文抄録，和文キーワード（5 つ以内）をつけている。

- ・ 投稿規程に沿って体裁が整っている。

④総説

- ・ 特定の分野やトピックについて，過去に発表された文献や資料に基づき総括的に論評した種類のものとする。なお，総説は査読を行わない。

- ・ 倫理的な問題がない。

- ・ 投稿規程に沿って体裁が整っている。

<附則>

1. 本規約は令和 4 年 4 月 16 日より発行する。

2. 本規約は令和 5 年 4 月 16 日に改訂する。